

KAWAKAMI VILLAGE
PIPE ORGAN
ASSEMBLY WORKSHOP & MINI CONCERT

川上村パイプオルガン

「組み立て」を見てみよう!

〜 移設する今だけの特別な体験 〜



普段は見ることのできないオルガンの中身や組み立て作業を間近で見学、質問!

オルガン職人と一緒に「どうやって音が出るの?」を楽しく学びます。さらに、小型オルガン(ポルタティブ・オルガン)の演奏もお楽しみいただけます!

オルガン職人

マナ オルゲルバウ

オルガニスト

佐伯 恵美

2026年11月7日(土)

開場 13時30分

開演 14時

入場無料

会場 川上村文化センター

からまつ広場

◆ 主催 / 川上村・川上村教育委員会

◆ お問い合わせ / 川上村教育委員会生涯学習課

Tel.0267-97-2000



パイプオルガンについて

パイプオルガンは、1983年（昭和58年）にドイツの教会で実際に使われていたものです。村の教育と文化の振興を目的に、川上村が購入し、中学校の音楽室に納められていましたが、より多くの方に愛されるオルガンとなるようこのたび移設することになりました。

ドイツから川上村へ 受け継がれてきた音の物語

Profile / プロフィール



佐伯恵美

Saeki Emi

鍵盤楽器奏者



ポルタティーフ・オルガン (オルガネット)

東京生まれ。オランダ国立ティルブルグ音楽院、同エンスヘデ音楽院パイプオルガン科卒

クラヴィコードをポール・シモンズ、山田貢氏に師事。

管弦楽法を指揮者飯守泰次郎氏に、作曲をデビッド・ローランド氏に師事する。ヤマハインターナショナルコンクール最優秀賞。

日本・ヨーロッパ・ロシアを巡り、レクチャーや演奏会を行い、国際交流を深める。

川上村ではパイプオルガンのレクチャーコンサート、演奏指導をする。

2019年カリフォルニア州に移住。

カーメル・ウェイフェア教会音楽監督 モントレー・

ファースト教会 レジデンスオルガニスト/ピアニスト

ルネッサンス時代より前から、ヨーロッパで広く用いられてきたポルタティーフ・オルガン。

小さな楽器の中に、パイプオルガンの仕組みと魅力が詰まっています。今回は、マナオルゲルバウが再現したポルタティーフ・オルガンをご紹介します。中でも特徴的なのは、時代的に最も古いボタン式の鍵盤。実際にその鍵盤を使って演奏し、当時のオルガンの響きをお聴きいただきます。